

基本理念

わたしたちは地域の中核病院として皆さんの健康を守るために、質の高い医療を提供し共に歩みます。

基本方針

- 患者さんの人権と権利の尊重
- がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- 地域の医療機関、保健福祉施設との連携強化
- 職員の働きやすい職場づくり

病院機能評価に合格しました

**今年6月25日(木)・26日(金)、
日本医療機能評価機構の『3rdG:Ver.1.1』を受審し、
11月6日に認定書の交付を受けました。**

今回の機能評価は当院にとって3回目の更新になりました。5年前(平成22年)と違い、今回は入院から退院までの診療・看護を遂行していく過程において診療と看護間やその他チームとの間における業務の伝達プロセスや、チーム医療がどのように行われているのか(ケアプロセス)に重点がおかれ審査官が病棟を訪問して審査を行いました。



病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者(サーベイヤー)が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られます。

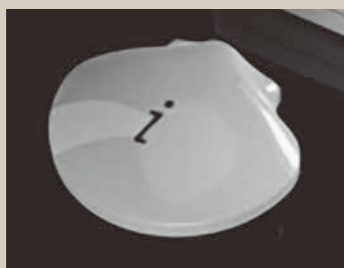
(日本医療機能評価機構ホームページより抜粋)

生活習慣病外来に CGM(持続グルコース測定)の器械が2台導入されました。

◆CGMってなんだろう? 難しそう? 怖そう?

◆いえいえ、難しくも怖くもなく、約1週間の血糖パターンを知る検査方法です。

CGM(持続グルコース測定)は、腹部などの皮下組織に専用のセンサーを装着し、連続的に皮下の組織間質液中のグルコース濃度を記録する検査方法です。糖分を測るだけで、特別な薬を体の中に入れてはみませんので、トラブルを起こすことは全くありません。1日4回の自己血糖測定は必要ですが、機器操作が不要で、小型化・防水化されています。小さな貝殻状の機器を体につけたまま病院から帰宅でき、入浴を含む日常生活を送りながら、連続した測定ができます。



CGM



CGMを装着した状態

自己血糖測定は、1日の測定回数が限られ、1日を通しての総合的な変動傾向を把握することが難しいという課題があります。特に、夜間就寝中などは自己測定が困難なことから、無自覚の低血糖症状や早朝に血糖値が上昇するといった大きな変動を見逃すおそれがあります。

CGMは、自動的に10秒毎に測定し、5分ごとに平均グルコース濃度を記録します。昼夜を問わず1日を通しての高血糖、低血糖などの変動パターンを可視化することができるため、血糖状態への理解を深め、より適切で安全な糖尿病治療を行うための指標となることが期待されています。

糖尿病患者すべてに保険適応がなされ、タイプや治療方法は問いません。特にこのCGMでわかることは、低血糖(特に夜間)、高血糖(特に食後)、運動効果、食事内容の影響などです。「HbA1cが良い」「コントロールが良い」とかかりつけの先生に言われているから、そんな検査は必要ないと思われるかもしれませんが、HbA1cは1-2か月の血糖の平均値です。これが良いことはとてもいいことですが、今はその質(内容)が問われています。たとえば同じHbA1c 7%でも高血糖、低血糖を繰り返す方と、押しなべて上下変動の少ない方では、前者の方が血管が損傷を受けやすいといわれています。高血糖も低血糖も体には悪いのです。また、薬の効果や食事の内容によって血糖の上がり具合もわかり、改善の参考になります。

かかりつけの先生にご相談いただき、かかりつけの先生から、電話またはFAXで地域医療連携室にご連絡ください。いつでも対応させていただきます。

H.27
9/29

第1回粟津診療所 患者さんとのつどい



平成27年9月29日(火)、粟津診療所において、地域の方を対象にした第1回粟津診療所「患者さんとのつどい」を行いました。

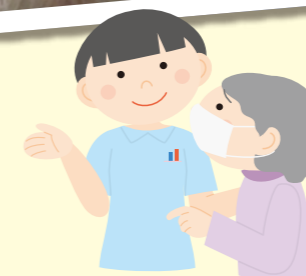
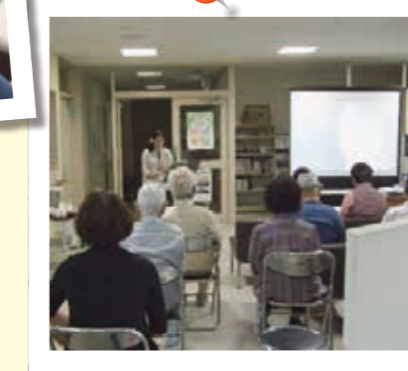
第1部は、粟津診療所所長松田直人医師による「胃の中で何をみるの!?!」と題してのミニ講座を行い、スライドを使用しながら胃の位置や働き、さらに病気を正しく理解するために、胃カメラから見た胃潰瘍、逆流性食道炎、胃ポリープとはどのような病気なのかを映像をもとに説明を行いました。第2部では、医師が、健康診断の結果について、看護師が健診の意義についてそれぞれ説明しました。そして参加者の皆さんと医師が意見交換をし、早期発見・早期治療につながる年一回の健診の大切さを再確認しました。

参加者の感想は、1部では、「普段は見ることがない胃の中の写真を見ながらの説明はわかりやすかったです。」又、「今まで胃カメラは怖いという印象がありましたが先生のお話を聞いてあんまり怖くなくなりました。」などの意見を頂きました。2部では、「先生と参加者同士のコミュニケーションが図れ、先生の率直な意見が聞けてよかった。」という声がありました。

1部と2部の休憩時間には、クラリネットによる懐かしい曲が演奏され、和やかな雰囲気となりました。

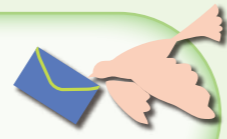
粟津診療所では、予約制にて午前中に胃カメラや腹部エコーの検査を行っております。また、糖尿病検査のHbA1cについては、迅速に検査結果が分かるように予定されています。

今後もコミュニケーションの場として、地域の方とのつどいを行い、地域に密着した診療所であり続けたいと考えています。



H.27
9/26

防災訓練を 実施しました。



平成27年9月26日(土)に防災訓練を実施しました。休日に大規模地震(震度6)が発生し、被災受診者が訪れることを想定し行いました。今回は緊急連絡網を使用し、職員が参集し訓練に臨みました。災害対策本部を立ち上げ、建物の被害状況や入院患者さんの安全確認を中心とした情報収集訓練や、模擬傷病者に対する医療従事者によるトリアージ*訓練、重症度・治療優先度を迅速に判定し、重症度に応じて区分けた各診療エリアでの処置、さらに入院が必要になった重症患者の移送訓練を行いました。

当院の災害派遣医療チーム(DMAT(ディーマツト)=Disaster Medical Assistance Team)が中心となり、各部門の運営、情報伝達状況の確認に回りました。

災害はいつ発生するかわからず、いざその時に迅速に適切な行動がとれるように職員一同が緊急災害時の対応課題を確認し、体制強化に取り組んでまいります。

模擬患者役は、こまつ看護学校の学生にお願いしました。ご協力ありがとうございました。

*トリアージ：災害医療の現場において、限られた医療資源(医療スタッフ、医療品等)を最大限活用するため、負傷者を傷病の緊急性・重症度に応じて分類し、治療の優先順位を決定すること。

職員参集



災害対策本部

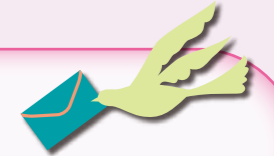


各エリアでの診療



H.27
11/12

市政情報講座に参加して 小松市の市政情報講座で 谷内町シルバー桜泉会にお邪魔しました。



11月12日(木)10時に市政情報講座の中にある「マンガで学ぶ脳卒中の予防」の講座依頼を受け、脳神経外科医師 新多寿が河田町谷内会館で講演をしました。

当日は、晴れ渡り、暖かく、穏やかな日で、シルバー桜泉会の方34名は、すでに集まり健脚体操をされていました。



講座の主な内容は

★脳卒中にならないようにはどうしたらよいか…

★どんな人がなりやすいか…

★脳梗塞の症状

- ① 顔のゆがみ
- ② 腕が動かみにくい
- ③ 言葉がうまく出てこない、ろれつが回らない

症状が出現したら様子を見ないで3時間以内には、病院に来ることが必要
症状についてはご家族にお話しておき救急車を呼んでもらうことも必要

★治療について

- ① t-PA治療
- ② カテーテル治療

などです。

シルバー桜泉会の方からは、お話だけではなく動画で治療の様子が見れて、とても参考になり、わかりやすい内容でしたと講評をいただきました。



「マンガで学ぶ脳卒中」の
市政情報講座のお問い合わせは
小松市役所の広報秘書課まで

H.27
9/11
10/7

医療安全対策研修会を行いました。



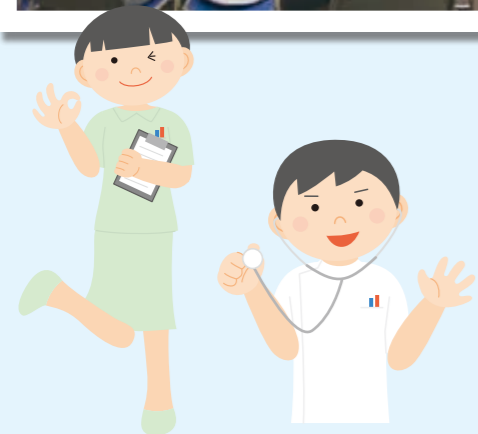
9月11日、10月7日、2回に分けて全職員を対象におこないました。

当院で発生したインシデント4事例をもとにSHELL分析によるグループワークを行いました。医師はじめ医療技術者、看護師、事務職など345名と多数の参加がありました。

院内で発生するインシデントを共有することができました。それぞれの立場による意見がでて、「他職種の方と交流でき、いろいろな話が聞けて有意義だった。」「建設的で前向きな意見が出て、今後の役に立つと思った。」等の意見がありました。

話し合いの中ででた意見を参考に、医療安全対策委員会で改善策を検討しています。

インシデントとは、結果として事故に至らなくても、場合によっては事故に直結したかもしれないエピソードのことをいいます。間違った医療行為が行われそうになったが未然に気づいて防ぐことができたケースや、行った医療行為に間違いがあったものの患者に被害は及ばなかったケースなどが含まれます。



ピアサポート **Kataro-sa** 活動カレンダー

平成28年1月

月～金曜日 9時～17時は、いつでもご利用いただけます。お気軽にお立ち寄り下さい。

日	月	火	水	木	金	土
					1 元日 休	2 休
3 休	4	5 ピアサポーター 10:30～12:30	6	7 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援相談 13:00～17:00	8	9 休
10 休	11 成人の日 休	12 ピアサポーター 10:30～12:30	13	14 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援相談 13:00～17:00	15	16 休
17 休	18 ピアサポーター 10:30～12:30	19	20	21 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援相談 13:00～17:00	22 「和会」 13:00～15:00	23 休
24 休	25 ピアサポーター 10:30～12:30 栄養相談会 14:00～15:00	26 	27	28 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援相談 13:00～17:00	29	30 休
31						

食事・栄養相談会

毎月・第4月曜日
14:00～15:00

くすり相談会

毎月・第2月曜日
14:00～15:00

*日頃の不安や悩み、疑問について相談してみませんか??
薬剤師・栄養士がお話をお伺いします。

就労支援相談

毎週・木曜日
13:00～17:00
ご予約が必要になります。

*仕事に関する様々な不安や問題について、
雇用問題や社会保険・年金の専門家
(社会保険労務士)が相談をお受けします。

ピアサポーター

毎週・月、木曜日
10:30～12:30

*同じ経験を持つ方と語り合う
ことで不安な気持ちが和らぎ
ますね。

小松市民病院 がん相談支援センター TEL:0761-22-7111



topics トピックス

クリスマスの飾りつけを行いました。

病院中央ホールにクリスマスツリーが飾られ、ネオンも点灯し華やかな雰囲気になりました。

また、本館2階Katara-saの部屋もクリスマスに向けた準備が整いました。12月25日にはKatara-saで一周年記念会が予定されています。皆さんと楽しい時間を共有できるように職員の催しの準備もおこなっています。様子は次回の「ヴェーダ」でご報告させていただきます。



本館2階Katara-sa



中央ホール

topics トピックス

国保直営病院職員体育大会ソフトボール競技

平成27年9月27日宝達志水町において第20回国保直営病院職員体育大会が開催されました。宝達中学校でソフトボール競技があり、小松市民病院Aチーム、Bチームが出場しました。

当日はお天気もよく、まさにスポーツ日和でした。医師はじめ医療技術者、看護師、の多職種が参加し、小松市民病院Aチームが3位に入賞しました。



編・集・後・記

11月14日は「世界糖尿病デー」です。世界糖尿病デーの認知度向上や糖尿病予防啓発のため、毎年11月14日を中心に、日本国内でも各地の著名な建造物がブルーにライトアップされています。

今年も小松市民病院も本館東側の壁面をライトアップする予定でしたが当日あいにくの雨となってしまう、中止となってしまいました。

「予防先進都市」の実現に向け、啓発活動を進めていきます。
(澤田)



岡本太郎作
「太陽の塔」
「太陽の塔」もブルーに染まりました。

 国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp